



## 先輩たちの思いに応えてほしい！

最近の皆さんの様子を見ていて、少し心配しています。それは、ルールやマナーを守らない人、人の気持ちを考えずに迷惑な行為をする人が、増えたと感じるからです。

例えばソックス。本校の規定は「白または黒の通学用、スポーツ用。無地またはワンポイント（両側可）。」となっています。これは、昨年度や一昨年度の生徒総会での要望を取り入れて、見直したものです。「くるぶしソックス」を普通の学校生活では許可したのも、皆さんからの要望を認めての見直しでした。ところが今は、グレーのソックスをはいてきたり、足の甲に大きな柄があったり、ラインが入っていたりするような規定外のソックスが見られるようになりました。それも、少しずつ増えています。せっかく、皆さんの先輩や代表が考えて校長室へ要望に来てくれ、それを認める形で見直したのに、それを守らない人がいるというのは、とても残念なことです。これでは、今回出されている要望を認めるかどうか、考え直さなければなりません。

また、校内のことだけではありません。休日のノーヘル、SNSに関するトラブルや人が傷つくような言動によるトラブルも見られます。

もちろん、全校生みんなが、こういう状態なのではありません。ルールやマナーを守って、思いやりの気持ちを持ち、人に迷惑をかけずに毎日がんばっている人は、たくさんたくさんいます。しかし、上に書いたようなことに該当する人が増えたと感じている人は、私だけではないと思います。

こういった状況を、皆さんはどう思いますか？上に書いたようなことに該当する人は、もちろん反省し、行動をあらためなければなりません。誰かが見ていなくても、自分自身はよく分かっていますね。誰かに厳しく注意されなければあらためられないのでは、社会へ出てから通用しません。きちんと、自分で直しなさい。

ただ、本人たちだけの問題ではありません。そういうことを許す雰囲気、作ってはいけません。普段から「ルールは守ろう。」「何があってもいじめはだめだ。」ということを話題にしているだけでも、集団の雰囲気は変わります。

昔、私が三豊中学校で生徒指導を担当していたころ、当時の生徒会役員や代表委員会が中心となって、「希望が丘宣言」ができました。1998年のことです。その年の生徒会スローガンは「常春（とこはる）」でした。このことについて、今から10年ほど前に、私がお頃の三中生に向けて書いた文章があります。

「常春（とこはる）」とは、一年中、春のような温暖な気候であることを言います。（ハワイなど、一年中、夏のような気候を「常夏（とこなつ）」というのは聞いたことがあるかもしれませんね。）

「希望が丘宣言」ができたまさにその年（1998年）、生徒会のスローガンが、この「常春」でした。三豊中学校が、いつも春のような温かさに包まれ、友だちどうしが支えあい、穏やかな気持ちで毎日の学校生活を送れるようにという願いがこめられていました。

私は、それ以降、いつもそんな学校であってほしいと願っています。そして、その実現は、われわれ教師だけではなく、主役である生徒の皆さん一人一人に委ねられているのです。人の気持ちを思いやり、誰に対しても分け隔てなく接し、自分にできることを考え、やるべきことをやる・・・そんな優しさと行動力のある生徒になってください。そうすることが、今の三豊中学校だけではなく、5年先、10年先、そして皆さんの子どもたちが通う三豊中学校を支えることになるのです。

どうか、自分のため、そして後輩たちのために、「常春」な三豊中学校を育てていきましょう。

「常春」のスローガンのもと、当時の生徒たちは、みんなで温かい雰囲気を作ろうとがんばっていました。将来、自分たちの子どもが通う三豊中学校を想像していたかどうか分かりませんが、今の保護者の方の中には、その頃の生徒が増えました。

次は皆さんの番です。時を超えて、もう一度言います。その頃の先輩たちの思いに応えて、今の三豊中学校を、そして後輩たちに残す三豊中学校を、春のような温かさに包まれ、友だちどうしが支えあい、穏やかな気持ちで毎日の学校生活を送れるようにしてください。それができるのは、今の皆さんだけなのです。



【生徒会役員が持つスローガンの横断幕（1998年）】

それができるのは、今の皆さんだけなのです。